



家庭訪問で教え子を
食ったと思ったら
逆に食われていた話

家庭訪問で教える

食のたど思つたら

逆に食われていた話











はい、
お任せください

これから仕事があるので
家を空けてしまいますが、
どうか先生よろしく
お願いします

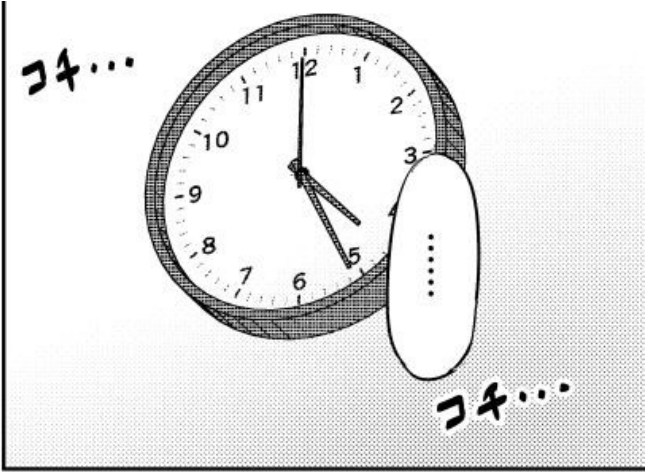


ここが
娘の部屋です。



雛森、先生だ。
入るぞ

せん…せい…？







どうやって脱がせれば
いいんだ…

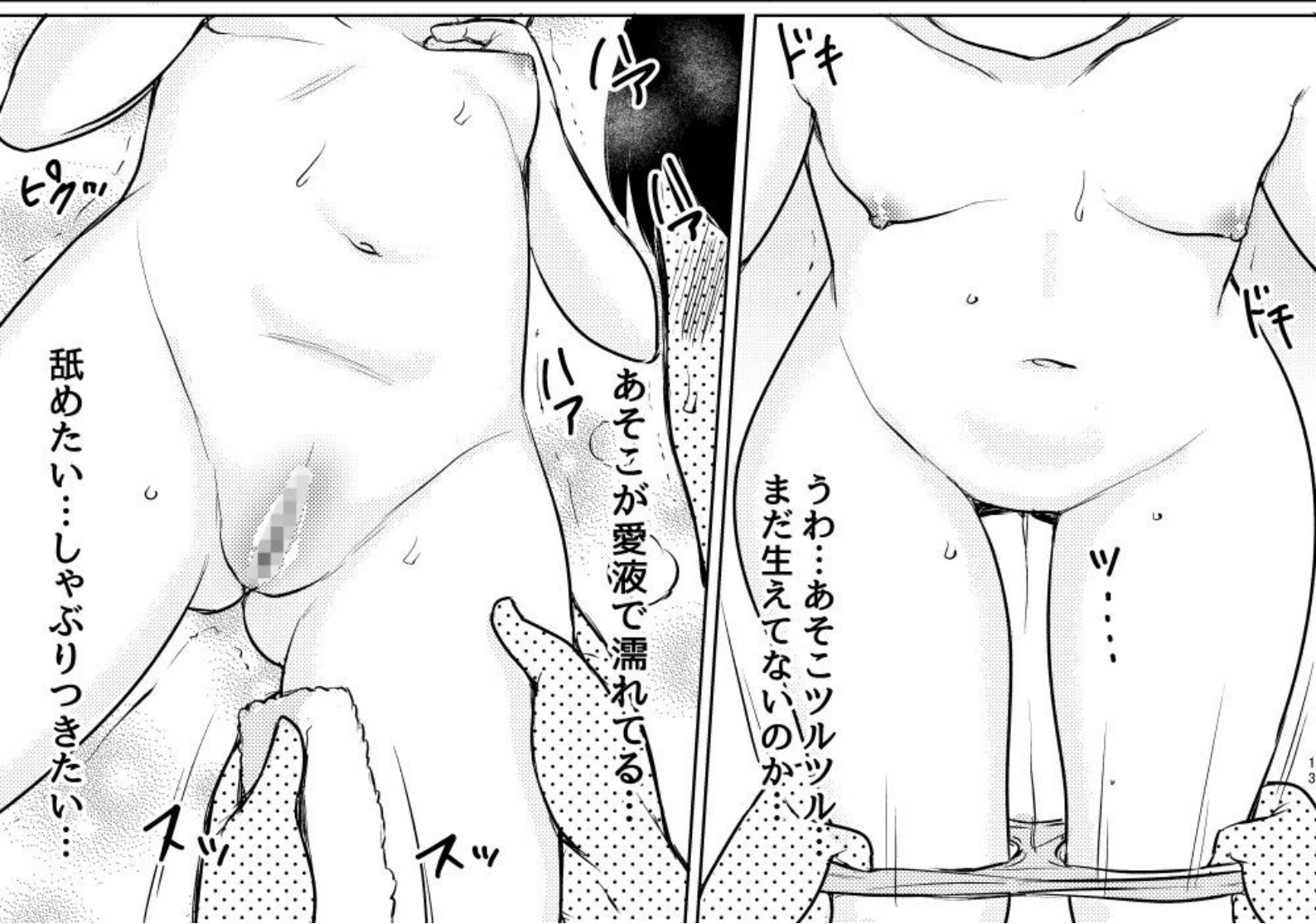


うおっ…肌きれいだな…
それにふくらみかけの胸が
露わに…



自分から脱ぎ始めるだと







ああ…
ふくらみかけなのに、
ちゃんと柔らかい…

ギュルルッ



まだ開発されてない乳首…
ぐっ

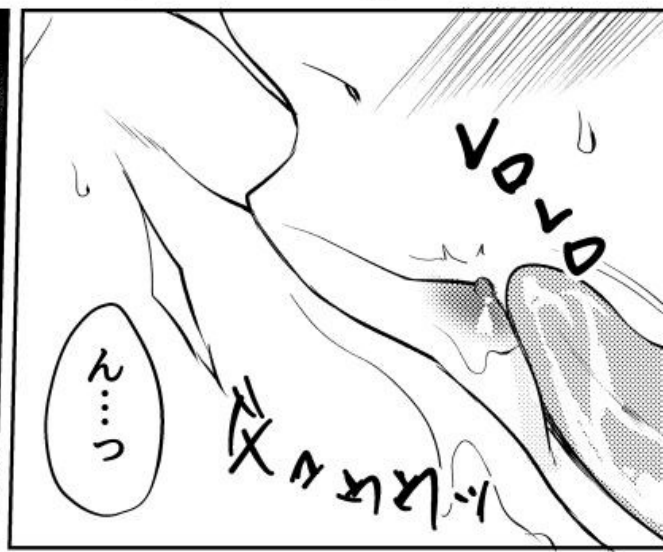


まだまだ膨らみかけ…
胸はたしかに膨らんでいるのに、
少女の部分も残している…



少女の乳首なのに…
こんなにピンツピンにして…















そう、
やさしく舌で舐めてみて

ドキ

はあ

ドキ

はあ

はあ

はあ



先生のおちんぽが…
口の中をで入りして…っ



いやらしい形が
よく分かつちゃう…



すごい匂い…
これが先生のおちんちん…

舌で全体を濡らしたら、
歯を立てないように
して口に含んで…







せ、せんせえ…？

はっ

はっ

はっ
はっ
はっ

もうたまらん…っ
入れる…っ
そして中出しする…っ



こっち来て、
ベッドに腰かけて



君のいやらしい体が
悪いんだからな
君がこうさせたんだぞ

あ…っ
♡

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

ぐわんぐわん…

ぐわんぐわん



く…っ
トロトロで包み込むように
締め付けてくる…っ

母親に頼まれた
すぐ後にこんな
ハメてしまっ…っ



くっ
ちんこの中を全部
搾り取られそうだ…っ







さっきまで初々しかった少女が、
もうセックスを覚えて
腰を振っている…



もう戻れない…
大人のセックスの味を
覚えてしまったら…







あとがき

この度はサークル「ねこ缶」の作品をお手に取っていただき誠にありがとうございます。

自分に行為を寄せる教え子の女の子を、なし崩し的に食ってしまうというお話でしたがいかがだったでしょうか。

最近、自分の作品の方向性が固まってきたというか、
だんだん見えてきた気がします。
「やっちゃいけないことなのに、つい流れてやってしまった…」
そんな抗えない欲望と背徳感、それを表現出来ていたらいいなと思います。

ただ、お話自体を考えるのはいいんですが、致してるシーン、
これまでに10作ほど描いてきて、
これについては自分の引き出しの少なさを感じるようになってきました。

なので、最近は同人エロゲーやエロマンガを積極的に摂取して、
自分の引出しを増やすように取り組んでいます。
自分の頭の中で繰り広げられる展開、これももっと色々な展開を描けるようにしていきたいですね。

それではまた次回もお会いできましたら幸いです。

だんだん春が近づいてきているので、
暖かくなったら思いきりクロスバイクで走り回りたいですねー。
みなさんも、季節の変わり目なので体調には気を付けてお過ごしください。

書名 家庭訪問で教え子を食ったと思ったら逆に食われていた話
発行 ねこ缶／ぬこやろう
発行日 2023.02.24
著者 ぬこやろう

twitter : nukomarun
pixiv : <https://www.pixiv.net/users/243824>

無断転載、アップロード。禁止事項違反確認時は罰金を請求します。

All rights reserved. A fine will be charged
upon confirmation of violation of prohibited matters.